

目次：

まえがき

本書を読み解く上でのキーワード

註

1. 日本語非母語話者（留学生等の来日外国人）にとって、日本語や日本史用語運用の何が難しいのか ～「日本事情」とは何か～

はじめに

- 1-1：留学生と日本学習
- 1-2：「日本事情」科目としての日本史教育の課題と手法
- 1-3：日本史用語学習上の課題とは何か

おわりに

註

参考文献表

2. 日本語非母語話者（留学生等の来日外国人）には日本史の何を知って欲しいのか ～学習項目の検討を通して～

はじめに

- 2-1：学習上着目すべき日本の歴史的地名情報とは何か
- 2-2：日本史用語を理解する為の課題と手法

おわりに

註

参考文献表

### 3. 歴史用語に見る「の」の運用法

～格助詞「の」には慣用性が存在したのか～

はじめに

3-1: 「の」とは何か

3-2: 過去の人名呼称に於ける特質

3-3: 平の清盛と徳川家康

3-4: 格助詞「の」と「が」の違いとは何か

おわりに

註

参考文献表

### 4. 日本の自然地形や事物に於ける人格化表現に就いて

～坂東太郎と野口五郎、そして船舶～

はじめに

4-1: 河川名称に於ける人格化 ～「坂東太郎」、「筑紫次郎」、「四国三郎」

4-1-1: 何故、千曲川・信濃川は倭国の「太郎」とはならなかったのか

4-1-2 : 利根川の事例

4-1-3 : 名数の文化論

4-1-4 : 方向性の文化論

4-1-5 : 筑後川の事例

4-1-6 : 吉野川の事例

4-1-7 : 対河川認識の起源とは何か

4-2 : 山岳名称に於ける人格化 ～「野口五郎岳」、「黒部五郎岳」～

4-2-1 : 「野口五郎」岳成立の経緯

4-2-2 : 「黒部五郎」岳成立の経緯

4-3 : 船舶名称に於ける人格化

4-3-1 : 船舶に於けるジェンダー

4-3-2 : 「供養」行為とは何か

4-3-3 : 船舶の擬人化

4-4 : その他「事物」に於ける人格化 ～梵鐘の場合～

4-4-1 : 沈んだ太郎

4-4-2 : 奈良次郎・奈良二郎

4-4-3 : 吉野三郎

おわりに

註

参考文献表

5. 伝聞記事と日本文化 ～「云々」表現と日本人の深層心理～

はじめに

5-1 : 「云々」とは何か

5-2 : 「御堂関白記」に見る藤原道長と情報

5-3 : 「明月記」に見る記事の時系列的矛盾

5-4 : 「明月記」に見る情報収集と保身

5-5 : 「吾妻鏡」に見る文化論

5-6 : 「花園天皇宸記」に見る情報の在り方

～巷説、閭巷之風聞、荒説、種々説、街談、街談巷説～

5-7 : 「看聞御記」に見る恐怖の噂

5-8 : 「看聞御記」に見る漢字・カタカナ交じり文の謎

5-9 : 「満濟准后日記」に見る国難情報

5-10 : 「実隆公記」に見る情報の在り方と習俗

5-11 : 「兼見卿記」に見る情報の危機管理

5-12 : 「御湯殿の上の日記」に見る情報の取り扱い

おわりに

註

参考文献表

あとがき

註

注記

初出一覧

著作者略歴

広告

奥付